



碧南ロータリークラブ週報

第2336回例会 平成18年11月1日(水)

● 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聡之

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

LEAD THE WAY

率先しよう

できるひとが
できるときに
できるところで



● 斉唱

国歌斉唱 君が代

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館



杉浦健次会長

会長挨拶

碧南RC事務局の森直子さんの実母様がお亡くなりになり、去る10月30日に葬儀が営まれましたので石川幹事と共に参列を致しました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

先週の卓話の講師、森本曜子さんよりお手紙を頂きました。「拝啓、先日は大変お世話になりました。ありがとうございます。心から感謝を申し上げます。貴ロータリークラブの皆様と久しぶりにお会いすることができ、なつかしさと嬉しい気持ちでいっぱいになりました。皆様とご一緒に共有させていただいた「時間という財産」。わずかな一時ではありましたが「コミュニケーション」の大切さを少しでも感じていただけたなら幸いに思います。ほんとうにありがとうございました。皆様にもどうぞよろしくお伝え下さいませ……。感謝をこめて……」

今月はロータリー財団月間であります。第2760地区に於いても今年度8月4日と10月20日の2回の財団委員長会議が開催され、その担当の方々のお力の入れようは相当なものがございます。さて、ロータリーを語る時I ServeかWe Serveかという論議があります。ロータリーは親睦と職業奉仕を基盤に発展してまいりました。斉藤ガバナーの言葉を借りるなら「例会に出席することがロータリアンに与えられた最大の責務であり、そのことを通して職業奉仕を兼ねたクラブ奉仕がある。そして、その延長線上に社会奉仕・国際奉仕がある。」という事があります。すなわち、日本の文化、日本人的感覚はI Serveが基本であり、その理解と実践によりロータリー財団或いは米山奨学会の活動があるということでもあります。そして、現在なお、この両方ともプログラムの拡大発展が強く求められています。わが碧南RCは先輩の皆様のご努力により第2760地区においても双方ともすばらしい寄付実績を誇っており敬意を表するものであります。本日は加藤丈太郎財団委員長より「ロータリー財団」についての卓話を賜りますが、会員諸兄におかれましては、よりロータリー財団活動にご理解を頂きますようお願い申し上げます。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告の通り。
- ・本日例会終了後201号室にて理事会の開催。
- ・ガバナー公式訪問の報告を致しました。11月号ガバナー月信14ページに記載されています。



石川春久幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名 (内出席免除者 14 名) 出席者 67 名	
出席対象者 56/64名	出席率 87.50%
欠席者11名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.44%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 岡島 淳一君 久しぶりの出席で、日頃ご無沙汰をお詫びして、ニコボックスさせていただきます。
- 加藤丈太郎君 本日の卓話をやらせていただきます。皆さん年次寄付よろしくお願ひします。
- 杉浦 勝典君 10/28日中日新聞に特許庁より地域ブランドに「三州瓦」を認定して頂き、商標権が確立しました。愛知県で唯一認められました。
- 犬塚 敦統君 10/28・29三河湾チャリティー100Km歩け歩け大会、好天の中、大雨の中無事終わりました。メンバーのご協力ありがとうございました。
- 森田 雅也君 犬塚様100Kウォーク大変お世話になりました。3名完歩出来ました。また、刈谷税務署副署長も、とくにお誘ひした税理士は1位で完歩でした。本当にありがとうございました。
- 堀田 益隆君 10/28・29の「チャリティー100km歩け歩け大会」に出場し、23時間17分で夢のような完歩を果たしました。犬塚敦統様、関係者の皆様には大変お世話になり多くの感動を頂き心より感謝しお礼申し上げます。
- 深澤 元喜君 11月3日(金)碧南火力発電所電力館で「ふれあい広場」を開催します。ご都合がよければお寄り下さい。

〈会員増強委員会〉

会員増強委員長 青木 稔君

会員増強にご協力のお願ひくあなたの手で・・・わたしの手で・・・会員を>

〈親睦活動委員会〉

11月会員誕生日

6日 石野 義弘君 20日 森田 英治君 20日 鈴木 輝彦君 22日 神谷 研君
27日 奥田 雪雄君 29日 竹中 誠君

奥様誕生日

2日 堀田 益隆君の奥様・美代子様 3日 石川 春久君の奥様・美鈴様
17日 鈴木 輝彦君の奥様・智子様 18日 縦山 善久君の奥様・悠久子様
20日 木村 徳雄君の奥様・小百合様 28日 角谷 修君の奥様・由美様

結婚記念日

2日 石川八郎右衛門君・浩子様 45年 2日 森田 英治君・明美様 48年
2日 犬塚 敦統君・清子様 39年 3日 岡島 淳一君・綾子様 44年
5日 縦山 善久君・悠久子様 45年 5日 木村 克美君・由利子様 38年
6日 杉浦 求君・静子様 41年 8日 新美 雅浩君・美由紀様 19年
12日 杉田 茂君・きよみ様 28年 12日 角谷 修君・由美様 10年
22日 堀田 益隆君・美代子様 39年 24日 岡田 赳勇君・明美様 36年
28日 竹下 豊君・佳子様 35年

クラブフォーラム

ロータリー財団委員長 加藤丈太郎君

ロータリー財団について

地区の財団委員長会議が10月20日に行われ会長と副委員長の長田昌昇さんと三人で行ってまいりました。本日のメールボックスの中のガバナー



月信とロータリーの友にその時のまとめが詳しく載っております。ここで私が詳しく述べるまでもなく、読んで頂ければ、ロータリー財団の全てがよく理解できると思います。

特に碧南クラブはすばらしい伝統の下、ロータリー財団に対する理解が永年続いておりまして、ベネファクターに至ってはこの地区においては碧南が28名で3番目に多い数字となっております。財団委員長の使命・役割を会議で云われたわけですが、国際ロータリー財団の行っているプロジェクトを皆さんによく理解して頂く、そしてこの地区とクラブが行おうとしている事業を分かりやすく説明し、財団への寄付をより多くして頂くことが使命であります。当クラブにおきましては、今まで通り、理解を頂ければ充分だと思えます。私なりのロータリーを考えたとき、ロータリーの綱領があります。奉仕がキーとなってクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕と4つの奉仕が在ります。職業奉仕というと、物を安く売る（サービスする）ということが頭に思い浮かぶが、商売というのは高い利潤の追求が第一の使命と思われるので、矛盾を感じざるを得ない。もう一つの奉仕の意味あいの中に、国家、社会に尽くすという解釈が在ります。ロータリーの綱領に出てくる「奉仕の理想を鼓吹し」は、国、社会に尽くせと解釈しないと職業奉仕等に合わないと私は理解しております。そして綱領のなかの4つの項目を鼓吹育成せよとある中の第1から第3番目までの実践が I Serve だと私は勝手に解釈しております。お互いにロータリアンとして成長するのはこの3項目を実践し、できることによって一人前のロータリアンとしてふさわしいのではないかと思います。第4の項目はそういった人達が集まって世界的な永久の平和をもたらせる。3項目の実践を基本として世界の実業と専門職にたずさわる人達が集まり国際間の理解と親善を深めて世界の平和をつくろうではないかというのが、綱領の解釈であるとおもいます。それを前提として実際に行動に移すには四つのテストによって律していくということでクラブの事業計画・事業報告書のトップに掲載される所以であると解釈しております。国際ロータリーは最終的には世界の真の平和を求めるとんにおいては、100年続いた実績においても世界の中では唯一の組織団体であると解釈できます。ロータリー財団がどのようにロータリーに関わってくるかと申しますと、世界の人口の40%が衛生面での施設が整っていない、貧困飢餓を無くすことが真の世界の平和に繋がるという事で、ロータリアンが追求した職業で得た利益の一部を充てることで職業を通して奉仕するという事です。国際ロータリー財団は、ロータリーの綱領使命を実行していくうえに必要な資金援助をするというのが趣旨であり、一つの法人であり会員は国際ロータリー一つだけで、運営管理は元国際ロータリーの会長が入った15名の理事で運営されております。事業は寄付金の運用による利益金によるものと寄付金そのものによるものがあり、これからお願いしたい中心は年次寄付で Every Rotarian, Every Yearでありまして100ドルを毎年お願いしたい、この地区では1年に一人ベネファクターを出してほしい、ベネファクターは1,000ドルの寄付であります。そのお金を使って事業を展開していこうとするわけです。財団の方では恒久基金というのが米ドルで10億ドルあれば、その利息で今の実施している事業は全てまかなえる。そうなれば皆様方に寄付をそれほどお願いしなくてもやっていけるのではないかという試算が出ております。現在4億8千8百30万ドルあります。あと5億万ドルほどですが2025年までの間につくって行きたいというのが目するところでありまして。具体的な使途ですが、現在3つの事業の継続を謳われ、人道的、教育的、ポリオ・プラスのプログラムに使われております。

これからもこのような事業に積極的に参加して頂きまして、当クラブがすばらしいクラブになりますように、また当クラブのメンバーがすばらしいロータリアンになりますことを祈念申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

次回例会案内 平成18年11月15日（水）

「環境先進県あいちづくり」 愛知県副知事 稲垣隆司氏